

年に1度は お寺で坐禅を組もう

大智寺 大坐禅会

とき： 12月4日（土）18時～

ところ： 大智寺 本堂

私たちの信じる臨済宗は、坐禅に励むことを信条とします。

12月8日、お釈迦様は坐禅をして悟りを開かれました。

「坐禅なんかしたことはない～！」という方 大歓迎です。

皆さまに坐禅をやさしくお教えし、禅に親しんでいただこうと思います。

＜自由参加・参加費無料＞

どなたでも参加いただけます。

＜ 定員100名様 ＞

事前に諸祈願を申し込まれた方を優先し、場所の都合上100名様までといたします。

＜椅子・座布団 使用可＞

椅子ご利用の方は事前にご連絡ください。

～諸祈願 受付中～

家内安全 合格祈願 先祖供養 開運祈願
良縁祈願 厄除祈願 疾病不侵 交通安全

- ★ 祈願料 500円
- ★ お申込 11月末日 締切
- ★ 申込先 大智寺

諸祈願はお名前とともに行灯に記載し、大坐禅会当日祈禱いたします。

大智寺だより

平成 22 年霜月

発行所

大智寺

岐阜市山県北野

668-1

電話：058-229-1532

Mail:

hybsr245@ybb.ne.jp

ホームページ

検索

www.geocities.jp/daitit

oukai

牛乳パックの灯ろう
さてさて、どんな灯りになる？

たくさんの方にご協力いただいた、牛乳パック灯ろう。

切り絵が貼ってあったり、俳句が書いてあったり・・・

灯ろう作りに協力して下さった方々の作品を、どうぞお楽しみください。

点灯：12月4日（土）17時～

今月の当紙発行には、岐阜県浄化槽管理センター様のご支援をいただきました。ありがとうございます。

広がる大智寺の輪

〜一期一会その瞬間〜



芸術の秋

小学生の写生会がありました。

10月13日、三輪北小学校の子ども達が大智寺にて写生会をしました。とてもよく晴れた日となり、気持ちよさそうに思い思いの場所で画用紙に向かっていました。
やはり人気があったのは、樹齢800年を越す大ヒノキ。きっと大ヒノキも子ども達に囲まれて楽しかったことでしょう。
秋はこうして芸術に触れるよい季節。
お寺の子どもの声がするのは嬉しい限りです。またいつでもお会いしたいと思います。

俳人 横井也有の研究グループ

「よじば会」の皆さんが来山

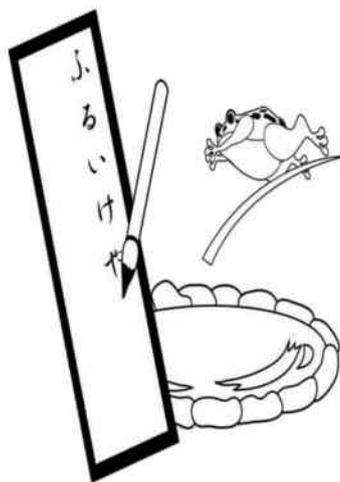
10月20日、名古屋から「よじば会」の方々がいらっしやいました。

俳人 横井也有の研究をなさっているとのこと。「え、誰それ?」って思われる方も多いでしょう。

横井也有とは、江戸時代に尾張徳川家に仕えていた重臣で53歳で隠居した後、俳句や和歌に遊んだ風流人です。句作りと言つより、俳文の大成者として知られ、代表作に俳文集「鶉衣」が挙げられます。

その横井也有が生前大変私淑した各務支考ゆかりの地へ行くつう、このことでも今回大智寺にいらっしやいました。

文学に親しめる秋、文人ゆかりの地を訪ねてみるのも風流でいいなあ。

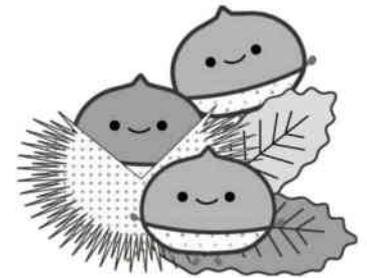


「大智寺 絵葉書集」作りしました。

絵葉書は、大智寺に送られてきたものばかり。誰でも見れるように絵葉書集にしてみました。お立ち寄りの際は、ぜひご覧下さい。

大智寺はこれからの季節、椿やモミジなど見頃。絵葉書が好きな方、どうぞおいでくださいな。





開山忌（10月30日）

無事に終わりました。

大智寺の開山様の法事は、一大行事。やはり、この玉浦和尚様がいたからこそ、今の太智寺があるのです。

太智寺にいらっしやると、参道に「玉浦派古道場」と書かれた石塔があります。この和尚様はたくさんのお弟子を抱え、禅の修行道場を開かれました。

今でこそ、お坊さんも家族を持っています。昔は完全なる男社会だったわけです。先代住職の古範和尚もこうした修行道場のお弟子としてお寺に入られた方でした。

昔、この地には

三輪牛乳って牛乳屋があった

もう今はなくなっちゃったけど、『三輪牛乳』ってのがあってね、ボクはそこで学生の頃配達の仕事をした。朝3時頃から自転車で配達して、北野から出屋敷、出屋敷から門屋、門屋から干引橋、白金のあたりまで回り終わると、夕方だった。

その牛乳屋のお得意さんが、太智寺だった。たくさん買ってくれとったから、朝いちばんに行くことになった。

ある日、いつものように配達にいった。朝の3時ってのは、まだ真っ暗で怖かった。当時はお寺も今みたいに明るくなくて、木がうっそうと茂って暗かった。突然何か光る黄色いモンが「キキーン」って、木に登っていったのをボクは見たんや。それからしばらくは、お寺への配達をおっかさんに行ってもらったようになっただ。あれは、いったい何やったんやろなあ・・・



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ♪

北野里5号のおばあちゃん おけんちゃ作り

- ① 人参や大根、ゴボウ、里芋、油揚げを一口大に切る。
- ② 油と一緒に炒めて、だし汁をタップタプに入れて、しょうゆで味付けして30分は煮込む。
- ③ 出来上がっても、すぐ食べちゃあかん。ちょっと時間がたつと、もっとおいしくなる。

※ おけんちゃは、けんちん汁ともいい、鎌倉の建長寺が発祥の地。

建長寺では残りものの野菜クズを使い、修行僧の食事としていました。

「昔は、おけんちゃなんて御馳走やった。今は里芋の小芋しか食べんけど、昔は親芋も大事に食べたよ。大根と里芋の親芋を味噌で味付けて炊いた「べた煮」は、鍋いっぱい作って、ひと冬中ずっ～と食べとった。なつかしいけど、もう食べんようになったなあ」



大智寺ホームページへのお誘い

大智寺が、毎月更新しているページの案内

① 「今月の禅問答」

11月は「秋霜以律己」

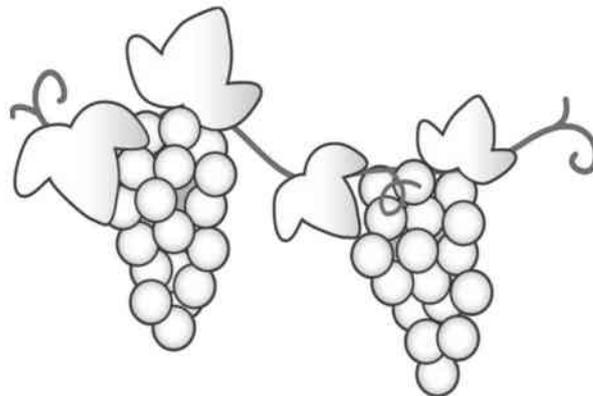
(しゅうそうをもって おのれをりっする)

② 「月刊エッセー 文机(ブログ)」

お寺のことを徒然なるままに書きます。

③ 「若おくりのページ」

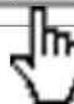
今月のいけ花や茶道、景色について書きます。



ホームページは [こちら](#)

大智寺

検索



今月のついで

お寺では、ようやくく白玉椿が咲き始め、ついでに冬だなと感じるようになりました。立冬を迎えれば、紅葉が始まります。

最近、「読書の秋」ってことで、手塚治虫の「ブッタ」というマンガを読み返してみました。このマンガはものすごい大作で、お釈迦様の人生がとてもわかりやすくまとめられています。マンガというにはもったいない程、仏教思想を説いており、「読書三昧」にはもってこいのマンガです。

ところでその手塚治虫の「ブッタ」が、来年5月28日に遂に映画化されることになったそうです。これは、全日本仏教教会の推薦映画でもあり、文化庁芸術振興補助金助成を受けたものです。

キャストینگに吉永小百合や堺雅人、「北の国から」の吉岡秀隆。楽しみです。どんな映画になるんだろう。

・・・私は、映画館には行かない性分なので、ビデオ屋で借りられる日まで待ちます。(涙)

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、お寺が守って供養するお墓のこと。

「永代供養墓」は大きく分けると二種類あり、いろいろな人のお骨を一つのお墓にどんどん納骨する「合祀墓」と一人ひとり別々に小さなお墓に納骨する「個人墓」があります。

「後々、お墓の守りをしてくれる子はいない」・・・だけど、「やっぱり赤の他人のお骨と一緒に納骨されるのはイヤよ」という方のため、大智寺では個別永代供養墓を用意しています。

完全個別永代供養墓

1区画：25万円～
(墓石彫代金含む)

特色

- ◎宗教・宗派 不問
- ◎大智寺での供養内容
月命日の供養
春秋彼岸の供養
- ◎追加納骨 可能
夫婦、家族でご利用可
(追加料金 なし)